



伊倉っ子  
だより

【学校教育目標】  
豊かな心と確かな学力を身に付け、  
心身ともにたくましく生きる  
児童の育成

伊倉小学校だより  
第4号  
令和7年5月30日  
文責：校長 須藤 隆

## “努力・協力 何事もあきらめない 伊倉っ子”

25日（日）に運動会を実施しました。1日順延しての実施となりましたが、運動するには絶好の天候で、子供たちもいつも以上に張り切っている様子でした。前日の雨の影響でグラウンドに水が溜まっているところもありましたが、PTAを中心とする保護者の皆様のご協力で計画通りに進行することができました。ありがとうございました。

さて、運動会は赤団の優勝でした。しかし、赤白それぞれの団長さんを中心に各団が心を一つにして取り組んだため、白熱した接戦となりました。最終種目までどちらの団が優勝するか分からぬ状況でした。

5月9日結団式で、次のようなことを子供たちに話しました。

運動会はただ走ったり競争したりするだけの行事ではありません。みんなで力を合わせること、諦めずに頑張ること、友達を応援すること、そういった大切なことを学ぶチャンスです。（中略）勝ち負けも大事ですが、それ以上に「自分の力を出し切った」と思えるように、練習から本気で頑張って下さい。



伝統の伊倉魂の様子

子供たちは行事を通して心身ともに大きく成長します。特に、勝った負けたの結果だけでなく、一つのことをやり遂げた自信が次の活動に繋がっていきます。今回の運動会での成果は今後の子供自身の生活や学習に表れます。

今回の運動会の経験をもとに更に素晴らしい伊倉小になることを期待しています。

## 自分から気持ちのいいあいさつをしよう

右の2枚の写真は、朝、横断歩道を渡り終えた子供の様子を写したもので、2枚の写真の中に学校と違う方向に体を向け下を見ている子がいます。何をしているのでしょうか？

お分かりだと思いますが、この子たちは横断歩道の手前で止まってくれた車の運転手にお礼のためお辞儀をしています。もちろん、この子だけでなく他の子もお辞儀をしています。朝の通勤時、運転手にとって貴重な時間です（立ち止まることなく、スピード上げて通り過ぎる車もあります…）。そんな中、お礼のお辞儀をされるだけでちょっと心がほっとします。



“自分から気持ちのいいあいさつをしよう”は始業式で子供たちに話した今年度頑張ってほしいことの一つです。大きな声であいさつをするだけでなく、声を出さなくても「自分から気持ちのいいあいさつ」をしてほしいと思います。

※伊倉小学校ホームページも是非ご覧ください。

URL : <https://es.higo.ed.jp/ikurasyo/> QRコード :

